

第 1 回緑区地域福祉計画策定委員会

日 時 平成 1 6 年 7 月 2 5 日 (日)

1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

場 所 緑区役所 5 階講堂

次 第

1 開会

2 区長挨拶

3 委員自己紹介

4 議題

(1) 会議の公開について

(2) 各地区フォーラムの取組状況について

(3) 委員長、副委員長の選任について

(4) その他

5 閉会

緑区地域福祉計画

各地区フォーラムの取組状況



平成 16 年 7 月 25 日

キーワード一覧表

検討順																		
誉田地区	A	居場所	交流	社会参加	身近な生活支援	緊急時の支援	虐待	自立支援	経済的支援	人材育成	人材の活用	声なき要支援者の発見	情報	安全	交通	バリアフリー	在宅ケア	相談
	B	情報	相談	安全	居場所	交通の事情	見守り・交流	福祉教育の充実	身近な生活支援									
椎名地区		A	コミュニケーションの場	施設活用・不足	緊急時の支援	身近な支援	交通対策											
おゆみ野地区	A	高齢者（ふれあい（生きがい）の場作り）	障害児（こころのバリアフリー）	児童（子供）のふれあいの場作り	その他（福祉、防犯ネットワーク、児童の福祉）													
	B	居場所	子育て支援	バリアフリー	防犯													
土気地区	A	居場所	バリアフリー	障害児の育成	交通	情報	交流	在宅ケア	安全	町内自治会	経済的支援	サービスの質の向上	人材の活用	社会参加	声なき要支援者の発見			
	B	送迎・生活支援	情報	バリアフリー	社協関係	医療	社会参加	共に育ち・学ぶ	障害者の就労	公共の道路の整備	緊急時の対策	公共施設の有効活用	人材の育成・活用	地域参加の福祉教育				

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
誉田地区	居場所	児童	児童の休日・放課後の過ごす場が不足している。	子どもが安全に過ごせる場所が近くになく、家にいることが多い。	1
		障害者	精神障害者が家庭から離れ独立した生活を図ろうとしても身近にそうした施設がない。	家庭の中でいろいろな問題が発生し、生活を独立させたいときにグループホーム等の施設がない。近くでグループホーム等を作ろうとしたとき、地域の反対にあって作ることが出来なかったという情報がある。親が高齢化して身動き取れない時に追い討ちされるように大きな負担が掛かって来る。	2
			ホームレスの安全	ホームレスの事件被害対策	3
	交流	障害者	地域の方との交流がない。	家にこもりがちになってしまう。	4
	社会参加	障害者	職場実習の受け入れ先が無い。	知的障害者への理解が乏しく断られることが多い。社会体験や「就労訓練の継続した受け入れ場が無く、社会性を身につけたり、地域生活移行のための就労訓練が出来ない	5
			近隣の人が精神障害者とその家族を孤立させる。	近隣の人が精神障害者に道で会ったり、身の上を根掘り葉掘り聞こうとする。近隣の人が精神障害者とその家族に近寄らないよう避ける行動をとる。近隣の人が精神障害者の家族の結婚話を破談にする。	6
			精神障害者は家庭の中に閉じこもっている。	近くにデイケアや作業所等がない。そうしたものがあっても、満員で何年も先になる。地域の中に居場所が確保されていない。	7
			障害者世帯は家に引きこもりがちではないか。	障害者世帯の家族を含み世間にもっと出てくるようにならないか。	8
	身近な生活支援	高齢者	高齢者世帯が多い。	高齢者の面倒を見る子供が見るようになるにはどうするか。	9
			高齢者の手助けをしている身内のものが入院した。	親類の者も高齢であり役にたたない。	10
			独居高齢者	周辺住民の関わり方 相方の情報不足 孤立 栄養失調	11

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	身近な生活支援	児童	保護者が就労等で家庭にいない幼児並びに小学生等が放課後や長期休暇（夏休み・冬休み）に安心して自由に過ごせる公共施設（児童館）数が少ない。	保育園（幼児）・学童保育（小学校低学年）施設等も序々に整備されてきているようですが、まだまだ待機状況なども多く、充足されているとはいいい難いのではないかと。留守家庭の児童に対する親の目の行き届かない時間の非行防止・健全育成の啓発も含め安心して自由に利用できる施設（児童館）の充実を希望したい。	12
		障害者	ホームレスの安全	ホームレスの事件被害対策	13
	緊急時の支援	高齢者	高齢者世帯が多い。 独居高齢者	高齢者の面倒を見る子供が見るようになるにはどうするか。 周辺住民の関わり方 相方の情報不足 孤立 栄養失調	14
		障害者	震災等の非常時に非難できない。 ホームレスの安全	災害時の在宅障害者非難訓練計画と機会がない。 ホームレスの事件被害対策	15
		障害者	ホームレスの安全	ホームレスの事件被害対策	16
		障害者	ホームレスの安全	ホームレスの事件被害対策	17
	虐待	高齢者	高齢者世帯が多い。 独居高齢者	高齢者の面倒を見る子供が見るようになるにはどうするか。 周辺住民の関わり方 相方の情報不足 孤立 栄養失調	18
		障害者	ホームレスの安全	ホームレスの事件被害対策	19
	自立支援	高齢者	老夫婦、妻が痴呆となり在宅生活が難しい。	子どもが遠方に住んでおり、あまり協力的でない。妻のグループホーム入居を勧めるが、本人が「何故私が入るのか」と拒否する。しかし、火の始末ができず危険である。夫はアルコール依存が強い。	20
		障害者	職場実習の受け入れ先が無い。	知的障害者への理解が乏しく断られることが多い。社会体験や「就労訓練の継続した受け入れ場がなく、社会性を身につけたり、地域生活移行のための就労訓練が出来ない	21
		障害者	精神障害者が自分で生活しようとする力をそいでいる。	例えば耳鼻科で診療してもらい薬をもらいに薬局にいくと、当障害者が言われていることがわからないとして、薬剤師が親を呼べと帰らせる。なぜじっくりと話をしてくれないのか。	22
		障害者	精神障害者が自分で生活しようとする力をそいでいる。	例えば耳鼻科で診療してもらい薬をもらいに薬局にいくと、当障害者が言われていることがわからないとして、薬剤師が親を呼べと帰らせる。なぜじっくりと話をしてくれないのか。	23
	経済的支援	高齢者	老夫婦、妻が痴呆となり在宅生活が難しい。	子どもが遠方に住んでおり、あまり協力的でない。妻のグループホーム入居を勧めるが、本人が「何故私が入るのか」と拒否する。しかし、火の始末ができず危険である。夫はアルコール依存が強い。	24

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
誉田地区	経済的支援	障害者	入所する施設が少ない。	動けない子供が車イスに乗って親が散歩に連れて行ったり、家の中で絶えず親がついていなければならないのに、いつの間にか高齢者になっている。その後誰が面倒をみってくれるのでしょうか。	25
	人材育成	障害者	職場実習の受け入れ先が無い。	知的障害者への理解が乏しく断られることが多い。社会体験や「就労訓練の継続した受け入れ場が無く、社会性を身につけたり、地域生活移行のための就労訓練が出来ない	26
		その他	ボランティアを長く続けてきたが自分自身が70～80才代となり以前の活動ができない。	意欲はあるので現在の自分でできることを知りたい。	27
	人材の活用	障害者	職場実習の受け入れ先が無い。	知的障害者への理解が乏しく断られることが多い。社会体験や「就労訓練の継続した受け入れ場が無く、社会性を身につけたり、地域生活移行のための就労訓練が出来ない	28
		その他	ボランティアを長く続けてきたが自分自身が70～80才代となり以前の活動ができない。	意欲はあるので現在の自分でできることを知りたい。	29
	声なき要支援者の発見	高齢者	高齢者の手助けをしている身内のものが入院した。	親類の者も高齢であり役にたたない。	30
			独居高齢者	周辺住民の関わり方 相方の情報不足 孤立 栄養失調	31
	情報	高齢者	独居高齢者	周辺住民の関わり方 相方の情報不足 孤立 栄養失調	32
	安全	児童	子供が屋外で遊ばない 児童の休日・放課後の過ごす場が不足している。	街の中で最近屋外で遊んでいる子供を見受けない。 子どもが安全に過ごせる場所が近くに無く、家にいることが多い。	33 34
		障害者	公共の場での障害者用駐車場が一般車の使用で使えない。（特に雨天時が多い。）	知的障害者の一部の方は多動者や重複障害で身体障害を持つ方もあります。外出時は限られた職員数（少ない）で対処せざるを得ないため、入り口から離れた場所では危険も伴い、困難をきたします。	35

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	交通	障害者	農道の遊歩道化のための舗装	「エルピザの里」と「アガペの里」（知的障害者更生施設）の障害を持つ利用者が安全に地域で生き生きと運動ができるよう農道を舗装してほしい。	36
	バリアフリー	高齢者	マンションの2階に在住利用者は車椅子生活であるが、エレベータが無い為、外出が困難である。	訪問介護やデイサービスを利用しているが、デイサービス利用時は、体格が大柄で4人がかりとなる。雨天等、階段の昇降は大変危険である。	37
	在宅ケア	高齢者	老夫婦、妻が痴呆となり在宅生活が難しい。	子どもが遠方に住んでおり、あまり協力的でない。妻のグループホーム入居を勧めるが、本人が「何故私が入るのか」と拒否する。しかし、火の始末ができず危険である。夫はアルコール依存が強い。	38
	相談	障害者	精神障害者の家族の悩みを身近に解決するところがない。	近隣の人達に気軽に悩みを打ち明ける話ができない。地域の保健センター等に相談に行く方法はあるが、遠いことや保健センターの人達が多忙であるため等で、なかなか深い話し合いに至らない。とことん追い詰められないと行く気にならない。関係する家族会もあるが、常設されていないため、困ったときに相談できない。	39

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	情報	高齢者	マンションは新しく高齢者は皆無。但し3丁目は多い。		40
			介護が必要な状態になった時、どうしたらいいかわからない。	申し込みはどうか、お金はいくらぐらいかかるか、施設はいろいろあるようだがどんな施設がいいかわからないため。	41
			高齢になるにつれて老後のことが心配になり、漠然とした不安を感じている。	どこに相談したらよいのか、どんなサービスがあるのか等の広報が少なく、情報がなかなか入ってこないため手探りの状態で動かざるを得ない状況にある。	42
			施設入所者の家族が施設でどのように自分の親が介護されているか不安。何か言おうにも遠慮してしまう。	介護保険導入後、契約サービスとなったが、いまだに措置されていると感じている人が家族に多く、施設の地域交流や開放等が定着していない。	43
		その他	地域のネットワークがない。	地域のネットワークが構築されていない。町内会の活動なし。子ども会なし。人が話し合うことがまったく無い。回覧板を回すだけのつながりという地域もある。今、人のネットワークづくりにはじめから真剣に取り組むときなのでしょう。	44
			アパート住民の地域との遊離。(6軒、8軒程度の小規模アパートや若者向けのワンルームマンションなど)	町内会への参加が少ない。ごみ回収には潜り？回覧は回らない。アパート管理者が地域参加に認識ない。町会がその動きをしていない。行政は建設認可に対して指導がない。街づくりの障害になり、又、今後の福祉施策実行段階での障害になるだろう。	45
			福祉情報が氾濫していないか。 福祉情報が活用されているか。 それを必要とする相手に届きやすい情報の出し方を考えているだろうか？	区役所、保健センター、公民館などに行けば、沢山のパンフレットが書架にある。役所の部、課の数だけそれぞれに発行されているようだが、相手に十分に届いているか疑問。相手は単独の条件でなく、複合条件者が多いこともあると、一体どれを見ればよいのかと迷う。目や耳の不自由な人もいるし、またその場所に行けない人もいる。	46

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
誉田地区	相談	高齢者	介護が必要な状態になった時、どうしたらいいかわからない。	申し込みはどうか、お金はいくらぐらいかかるか、施設はいろいろあるようだがどんな施設がいいかわからないため。	47
			高齢になるにつれて老後のことが心配になり、漠然とした不安を感じている。	どこに相談したらよいのか、どんなサービスがあるのか等の広報が少なく、情報がなかなか入ってこないため手探りの状態で動かざるを得ない状況にある。	48
			施設入所者の家族が施設でどのように自分の親が介護されているか不安。何か言おうにも遠慮してしまう。	介護保険導入後、契約サービスとなったが、いまだに措置されていると感じている人が家族に多く、施設の地域交流や開放等が定着していない。	49
		障害者	障害者が親と歩くにしても道路が悪い。特に溝のふたが、危険である。	障害者でなくとも女性のハイヒールなどが入り倒れる人もいる。歩行者用の整備が望ましい。	50
		その他	地域のネットワークがない。	地域のネットワークが構築されていない。町内会の活動なし。子ども会なし。人が話し合うことがまったく無い。回覧板を回すだけのつながりという地域もある。今、人のネットワークづくりにはじめから真剣に取り組むときなのでしょう。	51
			アパート住民の地域との遊離。 (6軒、8軒程度の小規模アパートや若者向けのワンルームマンションなど)	町内会への参加が少ない。ごみ回収には潜り？回覧は回らない。アパート管理者が地域参加に認識ない。町会がその動きをしていない。行政は建設認可に対して指導がない。街づくりの障害になり、又、今後の福祉施策実行段階での障害になるだろう。	52
			福祉情報が氾濫していないか。 福祉情報が活用されているか。 それを必要とする相手に届きやすい情報の出し方を考えているだろうか？	区役所、保健センター、公民館などに行けば、沢山のパンフレットが書架にある。役所の部、課の数だけそれぞれに発行されているようだが、相手に十分に届いているか疑問。相手は単独の条件でなく、複合条件者が多いこともあると、一体どれを見ればよいのかと迷う。目や耳の不自由な人もいるし、またその場所に行けない人もいる。	53

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	安全	高齢者	未道路舗装部分の舗装施行	誉田町1丁目780番地・789番地界の道路未舗装部分をシルバーカーを押して歩く高齢者に不便である舗装施行してもらいたい。出来るなら道足拡張してデサービスカーの進入出来るようにしてもらいたい。	54
		児童	安全な歩道がない。	歩行者が安心して歩ける歩道がないため、小さな子供を持つ親たちは、車での送迎を選択することになり、子供が歩く機会が少なくなりがちである。子供たちの行動を規制している家庭は多い。	55
			公園等安全な遊び場が少ない。	子供たちが活動できる広い遊び場がないため、戸外活動に出したくても、出せないと感じたり、不安を抱く親たちは多い。	56
			誉田3丁目は児童の安全な遊び場がない。大きなマンションが二つあり子供が多い。	マンションに子供が多く遊び場が無く、又、3丁目にも安全な遊び場が無いので、空き地などで遊んでいる。	57
			道路事情が悪く危険な状態である。本来安全なはずの歩道が危険な状態にある。街灯が不足している場所がある。	道が狭く歩道もなく、車が通過するとき児童には特に危険な状態である。信号機つき横断歩道が少ない。横断歩道だけあっても児童はなかなか渡れない。通学時間帯（遊）歩道を自転車やバイクで平気で走行していて危険である。有吉町から有吉公園に通じる道路は登下校をはじめ日常的によく使用する道路であるが、樹木が鬱蒼としていて、街灯が少ないため危険な状態である。	58
			児童公園の環境が良くない。遊びの種類にあった公園・施設が不足している。	ゴミが散乱しているときがある。砂場が汚い。樹木やしげみで見通しの悪い場所もあり、不審者の出没等の心配もある。小学校高学年や中学生が思い切り遊べるような、広い運動公園がない。また、面積を必要としない児童公園も不足している。大人と子どもが触れ合える、共用できる施設があると良い。休日に家でひきこもっていて、一人で過ごすことも多い。	59

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	安全	障害者	障害者が親と歩くにしても道路が悪い。特に溝のふたが、危険である。	障害者でなくとも女性のハイヒールなどが入り倒れる人もいる。歩行者用の整備が望ましい。	60
	居場所	児童	公園等安全な遊び場が少ない。	子供たちが活動できる広い遊び場がないため、戸外活動に出したくても、出せないと感じたり、不安を抱く親たちは多い。	61
			子どもルームが学校周辺にな い。	働いている母たちの親たちのた より綱である子どもルームが学校 周辺になく、親子共に不便を感じ ている。利用したくても躊躇する。 結果、子どもたちにしわよせがく る。	62
			児童館の様な子どもたち、母親 たちがいつでも集まる空間が必 要。	子育て世代が増加している緑区に おいては、子どもに関する情報発 信センターの役割を担う基地が身 近に必要とされている。子育て 真っ只中の母たちの中には、人間 関係がうまく構築できないと感じ ている人が多い。結果、子育てが 息苦しく見えてきたりしている。 本やテレビなどの一方通行の情報 を集めることは得意なのだが、一 番大切な体験を通しての情報収 集、井戸端会議は嫌手、地域の崩 壊も根っ子は同じ。子どもたちが 身をはって大人に教えているメッ セージ、不登校、いじめなどの社 会問題は、人が育っていないこと にあると思う。	63
			児童公園の環境が良くない。遊 びの種類にあった公園・施設が 不足している。	ゴミが散乱しているときがある。 砂場が汚い。樹木やしげみで見通 しの悪い場所もあり、不審者の出 没等の心配もある。小学校高学年 や中学生が思い切り遊べるよう な、広い運動公園がない。また、 面積を必要としない児童公園も不 足している。大人と子どもが触れ 合える、共用できる施設があると 良い。休日に家でひきこもってい て、一人で過ごすことも多い。	64

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	交通の事情	高齢者	緑いきいきプラザ迄の循環バス運行	緑いきいきプラザが新設されたが、誉田駅以西鎌取方面からの交通が不便なため、高齢者が利用出来やすくするため、循環バスの運行が必要と思う。	65
			大網街道（誉田地区）歩道の整備	大網街道誉田地区の歩道は幅狭く段差傾斜部分が多く高齢者の歩行に不便を感じる。	66
			未道路舗装部分の舗装施行	誉田町1丁目780番地・789番地界の道路未舗装部分をシルバーカーを押して歩く高齢者に不便である舗装施行してもらいたい。出来るなら道足拡張してデサービスカーの進入が出来るようにしてもらいたい。	67
			行事に参加するための「足」が乏しい。 行事に参加するには、場所が遠い。 家族の理解と説得不足。	高齢者には、足、腰の悪い人が多い。敬老会、老人会、B型リハビリ等高齢者対象の事業は多いが、参加者は限定され、結果として自宅に引きこもる場合が多い。悪くなるまで待って、病院や施設利用に至る傾向がある。	68
			高齢者、身障者の足確保（高齢者調査での意見）	バス路線から離れた人は役所や病院、いきいきプラザなどへ行くのに難儀している。巡回バスや施設の車の便乗制度など、よその行政ではある。	69
			大網街道の歩道が機能していない。凸凹が激しく歩行困難、外出できず。 （民事協での意見）	歩道幅が狭い上に、隣接居住宅の門前は車の出入りのため歩道が平坦ではない。車椅子、自転車は通れない。また、歩きにくい。	70
		児童	学童保育施設の配置 （高齢者調査での意見）	平山小は学童が減少し、空き教室が増加。おゆみ野地区は教室や学童保育が不足。辺田町地区に配置して生徒数を増やしたい。学区の見直しも必要。	71
			大網街道の歩道が機能していない。凸凹が激しく歩行困難、外出できず。 （民事協での意見）	歩道幅が狭い上に、隣接居住宅の門前は車の出入りのため歩道が平坦ではない。車椅子、自転車は通れない。また、歩きにくい。	72
			児童館など児童のための施設が不足している。	休みの日や放課後、安心して利用できる児童対象の施設が少ない。少子化防止のためにも安心して子育てができる環境が必要だ。各区に計画して作りたい。	73

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	交通の事情	障害者	障害者が親と歩くにしても道路が悪い。特に溝のふたが、危険である。	障害者でなくとも女性のハイヒールなどが入り倒れる人もいる。歩行者用の整備が望ましい。	74
誉田地区	交通の事情	障害者	車いす（電動車椅子等含む）利用者が外出等での移動で不便を感じている。	歩道（特に大網街道）が狭く、車いすで移動中大変である。ただでさえ狭い歩道であるにもかかわらず、歩道に車が止まっていると車道に出なくてはいけないため、非常に危険。また、車道と歩道の段差が高すぎて恐い。	75
			高齢者、身障者の足確保（高齢者調査での意見）	バス路線から離れた人は役所や病院、いきいきプラザなどへ行くのに難儀している。巡回バスや施設の車の便乗制度など、よその行政ではある。	76
			大網街道の歩道が機能していない。凸凹が激しく歩行困難、外出できず。（民事協での意見）	歩道幅が狭い上に、隣接居住宅の門前は車の出入りのため歩道が平坦ではない。車椅子、自転車は通れない。また、歩きにくい。	77
	見守り・交流	高齢者	人前へ出ることを好まないという人が多い。（高齢者調査における娘や嫁の証言）	母親の介護に苦勞している様子なので、デイケアやB型リハビリなど、社会資源の利用を進めるが、家族の段階で止まっている。打開を諦めている。本人が自分のみっともない姿を人目に曝したくないと言ふことの代弁者にもなっている。何とか入り込みたい。今の世代は難しいので次の世代がそうならない様にするための教育も必要。	78
			訪問レク（まだ言葉が決まらない。）の必要性あり。	訪問看護、訪問リハビリは、介護保険の中で実施されている。今はどちらも必要ないが家の中でじっとしている高齢者に対して、介護予防としてレク活動の宅配的なものができればよいと思う。（団体活動とか外を嫌う人への対処策）話し相手や囲碁、将棋、テレビを一緒に見るなど、独居生活を潤すようなことができるとよい。個人的な対応がやがて外へ連れ出すきっかけにもなる。	79

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	見守り・交流	高齢者	閉じ籠りがちなお年寄りをどうやって探すか、説得するかが難しい。	保健センターはB型リハのメンバー発掘が問題。本人と家族の地域交流がない為の情報不足。プライバシー問題で踏み込みにくい。本人の無知や遠慮、家族の敬遠などで対象者が埋もれてしまう。65歳になったら行政側から全市民を対象に一人ひとりの健康作りメニューを出し、各人にその必要性を認識させるような仕掛けが欲しい。千葉県がその方針を出しているが、千葉市では？	80
		障害者	本人や家族は外へ出たい、出したいとの意欲が高い。しかしそれを受け入れる「外」がまだ色々な面で準備（認識）不足の傾向あり。	地域を無視した建設許認可、地域側の建設拒否の話をよく聞く。折角できても周囲が無視。（箱もの行政の弊害とも云える。）視覚障害者への点字ブロック道路維持管理不足、車椅子利用者に対する道路整備の遅れ、知的障害者に対する警戒感、聴覚障害者に対する情報サービス不足の問題、など色々ある。	81
	福祉教育の充実	高齢者	高齢者の話相手が少ない。 若い頃からのコミュニティー参加の環境づくりが不足。 家族の会話が少ない。	高齢者は家庭でも、また高齢者施設や病院においても孤独になりがちである。女性より男性にその傾向が強い。レクやスポーツの前に挨拶や会話の環境作りが乏しいようだ。	82
		高齢者	ボランティアに対する考え方が曖昧で本気で育成されていない。	まだ「ちょいボラ」の考え方が多い様だ。やるからには、ボランティアのプロになるのだという位の意識が欲しい。また、施設専門機関の中にそのような指導者が欲しい。	83
		児童	小学校地域懇談会の状況を開示できないか。	平成15年から小学校単位で活動が始まっているが、どのようなことが話されているかが見えない。多分に福祉活動に関わるテーマが多くあると思う。	84
		児童	親の放任やしつけ等の問題で子どもの夜更かしや食事が心配である。 ゲームセンターの出店による生活環境の悪影響。	親の遊興を夜遅くまで待って、公園やコンビニにでたまっているのが心配である。孤食、偏食、早食い、過脂肪分の摂取、夜半の食事等、成長期の子どもたちの食事内容やマナーの悪さが心配である。大型ゲームセンターの出店により、子どもの学習・生活環境が悪化してくる心配がある。	85

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	福祉教育の充実	その他	福祉に対する認識を高める教育の充実をもっと高めること。	福祉は文化の一つである。生活の中で総合的な広がりを持たなければならない。単なる助け合いではすぐに息切れが生じる。継続性を持たせるためには、「心の育成」が大切である。地域福祉計画の中でもこのことを柱の一つとしたい。	86
			道路沿いの生垣の放置で通行に邪魔。(犬の糞放置なども同じで、家主や飼い主の社会性の問題) (民事協での提案)	他人の迷惑を感じない人に対して、地域住民がどうやって注意するか悩んでいるとの提案あり。地域でフランクに注意できるような間柄になれないと、地域福祉はできないのかもしれない。福祉の土壌作りの一つとして大切なこと。	87
			若い人や若い家族に社会教育をする人や制度が欲しい。 (民事協での事例報告)	生保のお世話をしてもお礼の挨拶ができない。面会に応じない、仕事もしない、CWも匙投げ。異性人的若者が生保継続では将来が思いやられる。「更生」させるにはどうするか?(母子家庭の母親が死去して女児一人残された後の状況例)	88
			今の一般家庭は、社会の関わりを大切にしたい家庭生活ができていないことを社会が認識してその対策を要す。	親の家庭生活が社会との関わりに欠けている。(例えば町内会やPTA活動を敬遠する。)状況では、その子供が家庭を持った時に状況は改善されない。親(大人)だけがボランティアをやってもダメ、子供だけがボランティア教育を受けても身に付きにくい。家族がその雰囲気を持つようになりたい。そのための施策も考えなければならない。	89
			地域の中で隠れた技能、技術、遺物などが埋もれている。発掘と援助が大切。 (民生委員による高齢者調査での会話から)	高齢者から「私はギターが出来るが何処かでお手伝いできないか」と相談を受けた。老人会の活動拠点を持っているのでそこに誘うことが出来た。私の所属する長寿会では、アコーディオンから始まってハーモニカ、フルート、キーボードと3年かかって色々な楽器が集まってきている。音楽に限らず各地域でそのようなことが出来ると良い。	90
			地域福祉発展のための地域ごとのセミナーや講習会の計画もつくりたい。	地域福祉計画の実施のためには、それなりの人材育成が必要である。また受けるほうも知識が必要になる。地域単位でこまめな啓蒙活動がなされないと画墁に帰す危険があるし、地域差がでてくる。	91

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
誉田地区	身近な生活支援	高齢者	老人世帯のゴミ出しについて	高齢化が進み老人世帯が増えゴミだしが不自由な身体に負担が大きく足腰の弱った老人家庭をどうしたらよいか考えてみたい。	92
			高齢家庭の生活用買い物について	高齢家庭が増え大型スーパー化が進み以前は家の近所で日用品の買い物が出来た個人商店が潰れて商業地まで歩かなければ買い物ができなく足の弱った老人には負担が大きく皆さんで考えてみたい。	93

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
椎名地区	コミュニケーション の場	高齢者	高齢者の「いこいの家」がない。	高齢者が日常生活で気軽に集い、交流しながら、時間を過ごすことができない。	94
			食事サービスに出席できない高齢者についての対応	同じ町内や近隣に住みながら出歩くのが、おっくうでみんなと会う機会が少ない独居高齢者についての対応	95
			地域に年寄りの憩いの場がない。	昔は、自宅でコミュニケーションの場があったが、今はそれもなく、一人で手押し車を押してぶらぶらしている年寄りが多い。	96
			独居高齢者の方が、地域から孤立化しているのではないかな。	独居高齢者世帯の中に、地域との交流機会を作れずに孤立化したり、各種福祉資源の存在を知らない方がいるのではないかな。	97
			高齢者が集まって交流できる場がない。	高齢者は、足腰が弱まり、歩くのがおっくうになり、家に閉じこもりがちである。	98
		その他	高齢者・障害児者のふれあう場がない。	地域において、障害児者と健常児者の関わるのが少なく知り合う機会がない。	99
			子供・障害者・高齢者がみんなが一同に集える場所。	今まで障害者と触れ合う機会がなかったため、街中で見かけても、どう接して良いのかとまどう事がある。	100
				高齢者・障害者を結ぶ場の設定	101
	施設活用・不足	高齢者	介護施設に入院させたいが、待機時間が長すぎて困っている。	本人も家族に気兼ねして暮らしており、病気の進行速度を早めている。	102
				老健施設がない。	103
		児童	児童の安全な遊び場が不足している。	子供の安全な遊び場が近くにないので、遠くにある公園などに自転車で遊びに行くため、大変危険である。	104
			児童が自由に遊べる広場が不足している。	地域に広場がなく、自由に遊べる所が少ない。そのため、家の周りで兄弟だけで遊ぶ子を見かけることが多い。	105
			児童の安全な遊び場が不足している。	子供の安全な遊び場が近くになく、家でTVゲームをしていることが多い。	106
			児童の学習の場が不足している。	学校5日制になったが、学ぶ施設や行事に参加できない子が一人家で過ごしている。	107
		障害者	学校卒業後の通う場が不足している。	学校を卒業後の行き場がない。遠くへ交通機関を利用して通わなければならない。	108
			放課後・休日の活動の場がない。	地域のクラブ等に参加したいが、受け入れてくれるところがない。	109

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
椎名地区	施設活用・不足	その他	子育てしている保護者が利用する一時保育施設が不足している。	必要な時に利用できない。	110
	緊急時の支援	高齢者	高齢者が病院にかかる時などの介護。	病院などで、高齢者の方の付き添いの方も高齢であることが多いので、大変そうである。	111
			一人暮らし高齢者に対する緊急時への対応。	独居高齢者などで、急病などの際に、受話器をあげずに緊急連絡がとれる対応が必要であると考ええる。	112
			福祉・介護情報が不足している。	要介護者や一人暮らしの人達は、情報に触れることがなく、不便を感じている。	113
		障害者	非難時における情報保障がない。	公共施設でも、火災等の災害が起きた時に非難誘導には音声が多伝えられることが多い。聴覚障害者が目で見えて分かる誘導装置がない。	114
			救急車内での情報保障がない。	聴覚障害者が夜間救急で市立病院に行っても、コミュニケーションがとれず、利用できない。	115
		その他		消防団が解散してないため、防災が不安。	116
	身近な支援	高齢者	元気な高齢者の方々の活躍の場がない。	地域に受け皿がない。	117
			寝たきり高齢者の介護等で家族生活に多大なる影響を及ぼしている。	介護に関わる経費、食事内容など、長期間に及ぶ場合に、家族への負担が大きい。	118
		障害者	ボランティアが不足している。	カラオケ、映画など一緒に出かけしてくれる人がいたらうれしい。	119
			送迎にあまり時間がかからずに預けられる施設がない。	放課後、休日、夏休みの活動をしている場所が遠くて利用しにくい。	120
			学校・スクールバスの停留所への送迎に負担を感じている。身近な支援がほしい。	保護者の体調の悪い時、祖父母や兄弟の用事で時間がかかる場合、困ってしまう。	121
	交通対策	高齢者	高齢者や障害者が安心できる歩道が少なく不便さを感じている。	手押し車や車椅子で外出の場合、道路幅や段差など不便を感じる。	122
			交通（バス）の便が悪く、通院・買い物に困難である。	なるべく自分の力で動きたいと思っているが、バス停留所までが遠いので、つい出不精になってしまう。	123
		その他	バス路線が少ない。	高齢者・障害者、子供など自転車に乗れない人や運転免許証のない人にとっては、買い物や通院が不便。	124
			緑区の中核機関までの足の確保。	この地区は、区役所、コミュニティセンター、保健センターに行くのに、車を利用できない人は、足の確保が大変である。	125

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
おゆみ野地区	ふれあい（生きがい）の場作り	高齢者	「ふれあいの場」についての関心が高い	世代間交流・高齢者同士の交流の場がほしい	126
			日中、家にこもっている高齢者が多い	交流の場が少ないので日中、家に引きもこっている高齢者が多い	127
			高齢者の孤立 家に閉じこもってしまいなかなか外に出ようとしない	家に閉じこもってしまい、なかなか外に出ようとしない高齢者が多い	128
			段差の多い公共施設	段差の多い公共施設へのバリアフリー化	129
			定年等で役割を失い（喪失感） 活気（意欲）を失い閉じこもっている方の増	定年等で役割を失い活気をなくしている	130
	こころのバリアフリー化	障害者	バリアフリー不足 段差など障害者にとって不便な箇所が多い	バリアフリーの不足 段差など障害者にとって不便な箇所が多い	131
			おゆみ野の街は障害者にとってかなり住みにくい	道路環境の改善	132
			障害者に対する住民の意識の改革	「ノーマライゼーション」の意識の浸透	133
	子供のふれあいの場作り	児童	子育てで困っている人がかなり多い	育児・保育相談の場が少ない	134
			子育てに対する母親のストレス	子育てに対する母親のストレス解消	135
			児童の安全な遊び場が少ない	子供を一人で遊びに出せる場所（公園、施設）が少ない	136
			公園で遊ぶ子供の姿をあまり見かけない	きちんと整備された公園が多く、遊び方に創造性が見出せず、多様性が見出せない。	137
			人間関係作りに悩む児童・生徒	生徒同士・世代間交流・地域との交流が少ない	138
			集団の中での遊び方・ゲームなどをあまり知らない子供が多い	こども同士・世代間交流・との交流が少ない	139
			登校拒否している子供たちの受け入れ先がない	登校を拒否している子供たちの受け入れ先がない	140

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
おゆみ野地区	福祉・防犯ネットワークの構築	その他	ボランティア活動の機能性	ボランティア及びボランティア団体の有効かつ機能的活動	141
			ボランティアが育たない ボランティア育成のあり方	ボランティアが育たない ボランティア育成のあり方	142
			福祉ネットワークの構築について	福祉マップの作成	143
			未就学児をもつ世帯、老夫婦世帯への防犯等に関する伝達方法がない	未就学児を持つ世帯や老夫婦世帯への防犯等に関する連絡事項を伝達する手段がない	144
			駐輪自転車・オートバイ等が歩行・通行のさまたげになっている。	放置自転車・バイクの撤去	145
			鎌取保健センターへの交通手段がない	鎌取保健センターへの交通手段がない	146
			遊歩道や公園等に犬の糞をそのままにしている状態が多い → 公共の街を汚している不衛生	遊歩道や公園に犬の糞をそのままにしている状態をよく見る	147
	居場所	高齢者	独居を含め、老人の居場所がおゆみ野地区には少ない	高齢者を一人で遊びに出せる場所が少ない	148
			独居高齢者用支援高齢者の日常生活上の支援(精神的ケア)	高齢者の精神的ケアの担い手	149
		児童	中学生・高校生の問題が多いが体力・行動などもてあましている子達の居場所がない	学生同士の交流の場がほしい	150
			空き教室の有効利用がなされていない	空き教室の有効利用	151
			鎌取コミュニティーセンターやあずみが丘プラザの地域コミュニティのコア(核)としての役割を果たしていない	コミュニティの拠点や役割	152
			子供の居場所(集える場所)の不足(小・中・高校)	子供の居場所の充実	153
		障害者	障害児者と地域住民とのかかわりの場が足りない	障害児者への関わりと理解	154
		その他	夜コミュニティーセンターに空き室がある	コミュニティーセンターの利用方法	155

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
おゆみ野地区	居場所	その他	小・中学校の学校開放の話が何年も前から出ているが、開放が進んでいない	小・中学校の開放	156
			児童・高齢者・障害者が遺書になって集える場所が必要（千葉型）	交流の場の充実	157
		児童	公園内の遊具の充実と便所の新設	公園における便所の設置	158
			公園の遊具点検	公園における遊具の点検・整備	159
	バリアフリー	障害者	中途失聴・難聴者が公共機関（施設）で不便・不利な扱いを受ける 「市・区役所，郵便局，病院等）」	公共施設へのバリアフリー化	160
			道路のバリアフリーを進める	バリアフリーの不足 段差など障害者にとって不便な箇所が多い	161
		その他	放置自転車が歩道にはみ出し車いす，盲人の通行を妨げる。	放置自転車・バイクの撤去	162
			横断歩道橋が市内の至る所に見られるが車いすの方々はどのように通行するのか	バリアフリーの不足 横断歩道橋など障害者にとって不便な箇所が多い	163
			遊歩道に休憩所がない	遊歩道での休憩所の設置	164
	子育て支援	児童	保育所，保育園が不足している	保育所，保育園の増設	165
			乳幼児と親の集える場の不足	乳幼児と親の交流の場の設置	166
		その他	子育てをしている母親が育児不安やストレスを抱えている。	子育てに対する母親のストレス解消	167
	防犯	その他	不審者が出没する	警備の充実	168
				防犯の充実	169

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
土 気 地 区	居場所	高齢者	日中、家に引きこもった状況の高齢者がいる。	独居又は日中は一人、高齢者のみの世帯で、社会参加の機会も見つからず、散歩すら出かけないお年よりも	170
			核家族化、高齢者世帯が多い中、人と触れ合う場や機会を失っている。	家族や友達、子供たちと会話をしたり集まったりする機会がなくなっている。	171
			もう少し、気兼ねなく集える施設が欲しい。	もう少し、気兼ねなく集える施設が欲しい。	172
		児童	公園があまり活用されていないのでいろいろ工夫したらどうか	公園があまり活用されていないのでいろいろ工夫したらどうか	173
			子供と子育て中の親が自由に集まることが出来る場の確保	小中学生や子育て中の親が子供（乳幼児）を連れて自由に出入りできる場所がこの地域にはない	174
	バリアフリー	高齢者	高齢者が買い物とか銀行等用事で外に出る折のヘルプを	高齢者が買い物とか銀行等用事で外に出る折のヘルプを	175
		障害者	町の中・店のバリア	車いすだと入口に段差があってお店やレストランが利用できない。	176
			医療関係のバリア	医療関係の建物の入口に段差があって車いすだと利用できない。	177
			障害者用トイレ整備	障害者用トイレはあっても大人が使えるおむつ替えのスペースはない。	178
			バリアフリーマップがない	SCはもとより、飲食店、駅等バリアフリーマップがない為、障害者駐車場の有無はもとより、車椅子で出入りできる施設案内がないため、障害者の外出をおっくうにさせている。	179
	障害児の育成	障害者	地域の学校に通う障害児は階段移動等が困難	地域の小学校に通う障害を持つ子は校舎内の移動に大変な思いをしている	180
			幼稚園に入れない	障害を持つ子は土気地区の幼稚園に入れない	181
			療育の場の不足	障害を持つ子に必要な療育・訓練の場が療育センター（稲毛海岸）にしかなく、土気地区からは来るまで一時間かかる。	182
			学校生活に支援費制度が使えない	支援費制度を学校生活でも利用できないか	183
			レスパイト・短期入所	重度心身障害児・肢体不自由児のレスパイト・短期入所の場所がない	184

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
土気地区	交通	高齢者	独居及び高齢者世帯の方々の通院や定期的な外出に際し、不便さを抱いている。	地域によっては公共交通機関も充分整っているとは言えず、外出することが大変苦勞に感じている。タクシーなどを利用することは可能だが、経済的な負担も増すことになる。	185
			日中、家に引きこもった状況の高齢者がいる。	独居又は日中は一人、高齢者のみの世帯で、社会参加の機会も見つからず、散歩すら出かけないお年よりも見受けられる。	186
			高齢者が買い物とか銀行等用事で外に出る折のヘルプを	高齢者が買い物とか銀行等用事で外に出る折のヘルプを	187
			足が無くて困っている	あちこち悪いので、一度に見てもらうため総合病院で見てもらいたいが、行くのが大変だ。薬をもらいに行きたいが、歩くのがつらいし億劫だ。	188
	情報	高齢者	IT時代を迎えた今情報困窮者とならぬようにすぐに役立つ高齢者の支援	IT時代を迎えた今情報困窮者とならぬようにすぐに役立つ高齢者の支援が必要	189
			高齢者はパソコンに対してアレルギーを持っている	世の中の情報伝達はパソコンが主流となっているが、大多数の高齢者はパソコンを操作できない。	190
		障害者	バリアフリーマップがない	SCはもとより、飲食店、駅等バリアフリーマップがない為、障害者駐車場の有無はもとより、車椅子で出入できる施設案内がないため、障害者の外出をおっくうにさせている。	191
	交流	高齢者	核家族化、高齢者世帯が多い中、人と触れ合う場や機会を失っている。	家族や友達、子供たちと会話をしたり集まったりする機会がなくなってきている。	192
			高齢者は社会参加する機会が少ない	高齢者は社会参加する機会が少ない	193
	在宅ケア	高齢者	独居及び高齢者世帯の方々の通院や定期的な外出に際し、不便さを抱いている。	地域によっては公共交通機関も充分整っているとは言えず、外出することが大変苦勞に感じている。タクシーなどを利用することは可能だが、経済的な負担も増すことになる。	194
			日中、家に引きこもった状況の高齢者がいる。	独居又は日中は一人、高齢者のみの世帯で、社会参加の機会も見つからず、散歩すら出かけないお年よりも見受けられる。	195

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
土 気 地 区	安全	児童	自然との触れ合い不足	まむし出没、がけ崩れ等危険区域マップがなく、児童が安心して自然に触れ合うことができない。	196
		障害者	バリアフリーマップがない	SCはもとより、飲食店、駅等バリアフリーマップがない為、障害者駐車場の有無はもとより、車椅子で出入できる施設案内がないため、障害者の外出をおっくうにさせている。	197
	町内自治会	高齢者	日中、家に引きこもった状況の高齢者がいる。	独居又は日中は一人、高齢者のみの世帯で、社会参加の機会も見つからず、散歩すら出かけないお年よりも見受けられる。	198
			高齢者社会に向けて町内自治会のかかわりをより具体的に	高齢者世帯が増解している今、一番身近な近所とのかかわり合い密にする必要があると思う。町内自治会でも高齢者の様子を知っておいた方が良いのでは	199
	経済的支援	児童	母子家庭の医療費の問題	小学校へ上がるまでは病院の世話になることが多く、母子家庭にとっては医療費の負担が大きい。	200
		障害者	障害児の補装具交付の自己負担額が大きい	障害児・者のうち補装具の助成のうち自己負担額の負担が大きい	201
	サービスの質の向上	その他	医療費助成の手続きが煩雑	医療費助成の手続きが煩雑	202
	人材の活用	高齢者	高齢者の健康保持の為の一人一人の支援 = 医療費の軽減	高齢者になると一人ずつ体型が違ってきて体操するにも個人差が出てくる。	203
	社会参加	高齢者	核家族化、高齢者世帯が多い中、人と触れ合う場や機会を失っている。	家族や友達、子供たちと会話をしたり集まったりする機会がなくなっている。	204
	声なき要支援者の発見	その他	地域の中で支援されたい人、支援される方の分かる方法は	地域の中で支援されたい人、支援できる人が分からない。	205
	送迎・生活支援	高齢者	福祉自動車の整備	高齢者を対象とした地域のさまざまな福祉活動の推進に自動車の利用は欠かせない。	206
			高齢者世帯の日常生活上の支援	高齢者世帯の日常生活上の支援が必要である。	207
		障害者	地域に身体障害者の施設が少ない	地域に身体障害者の施設が少ない	208
			通学や通所している障害児（者）の送り迎えをしている保護者の支援がほとんどない。	通学や通所している障害児（者）の送り迎えをしている保護者の支援がほとんどない。	209

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
土気地区	情報	障害者	緑区内に住む身体障害者に対して情報発信ができない	役所に問い合わせをしてもプライバシーの問題から情報が得られず、区内に住む身体障害者への情報発信ができない状態である。	210
			身体障害者手帳の交付について、身体障害者相談員が関わっていない	身体障害者手帳の交付が地域の身体障害者相談員の関わりなく行われているため、その情報がなく、サービスを受ける側、する側双方の仲介等相談員の役割がなされていない。	211
			広報の利用について	市広報誌に社福法人の情報を載せられない	212
	バリアフリー	児童	幼稚園の多くが障害児の入園を断っているので入れないで困っている	幼稚園の多くが障害児の入園を断っているので入れないで困っている	213
		障害者	幼稚園の多くが障害児の入園を断っているので入れないで困っている	幼稚園の多くが障害児の入園を断っているので入れないで困っている	214
			和式トイレでは困る障害者がいる	和式トイレのみの公共施設では困る障害者がいる。	215
	社協関係	その他	社協地区部会拠点の整備	社協地区部会活動を充実・発展させるためには、「拠点」（事務室・電話・事務機器）の整備は欠かせない。	216
			福祉活動推進員の制度的な位置付け	福祉活動推進員の認知度が低い	217
			人材の育成と資質の向上	福祉活動推進員へのフォローアップがない	218
	医療	障害者	身体障害者施設利用者に医療受給者証の交付がされない	知的障害者施設利用者に適用されている医療受給者証の交付が、身体障害者利用者には適用されず、医療費免除の手続きが不便である。	219
			知的障害児（者）を理解してくれる医療従事者が少ない。	知的障害児（者）を理解してくれる医療従事者が少ない。	220
	社会参加	障害者	自主生産品を売る機会が少ない	自分たちの施設では日中に作業活動（紙すき、手工芸など）を行い、自主生産品を作り出しているが、バザーなど販売する機会が少ない。	221
			知的障害児（者）が放課後や休日に気軽に行ける場所が少ない。	気軽に参加したり活動する場所が欲しい。	222

地区	キーワード	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	N o
土 気 地 区	共に育ち・学ぶ	児童	普通学級に在籍している障害児への支援が不足している	普通学級に在籍している障害児への支援が不足している	223
		障害者	普通学級に在籍している障害児への支援が不足している	普通学級に在籍している障害児への支援が不足している	224
	障害者の就労	障害者	障害者への職業の斡旋の仕組みがない	施設利用者が施設から仕事に通うが、職業が得られるための情報提供や斡旋をしてくれる仕組みがない。	225
	公共の道路の整備	障害者	舗装道路の整備	舗装道路のなかに視覚障害者にとって危険な箇所がある。	226
	緊急時の対策	障害者	災害時に対応できるトイレ対策（含む：健常者）	災害時の避難場所に障害者用のトイレがない。	227
	公共施設の有効活用	障害者	プールまでの距離が遠い	よく行く北谷津の市民プールまでの距離が遠い。	228
	人材の育成・活用	障害者	人手不足（マンパワー不足）・ボランティア	施設は慢性的な人手不足である。	229
	地域参加の福祉教育	児童	福祉推進教育校との連携	地区内に「推進校」が設けられている場合は、身近な地域福祉活動として、社協地区部会活動等の一環に何か連携できないか。	230